

開催報告

◆ 山と自然のサイエンスカフェ@信州

夕方6時から、長野駅のステーションビルMIDORI長野3F「りんごのひろば」を会場に、サイエンスについて気軽なトーク&ディスカッション。毎回約45名ほどの幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。以下、8月までに開催したテーマです。

- ・ 5月16日(木) 長野・新潟県境付近の植物のうつりかわり(柳澤)
- ・ 6月13日(木) 霧ヶ峰のお花畑をどう守る?(森林総研 小山・神奈川大 岩崎)
- ・ 7月12日(金) 高山植物の生活史：山の上の暮らしぶり(大町山博 千葉・尾関)

※特別編として7月28日(日)に「信州環境フェア2019」(長野市ビッグハット)で「ライチョウの科学-暮らしと環境-」(堀田)を実施しました。



◆ 施設公開・親子環境講座

7月20日(土)に、親子で楽しめる工作(紋切り、缶バッジ、むささびグライダー、ミニ盆飾り、吉澤嘉寿さんの指導による竹とんぼ)や「ワクワク森たんけん」などを行いました。剥製等の通常の展示の他に、植物やチョウの標本、石を特別に展示したり、日頃の研究成果の解説もおこないました。アルクマも登場し、子どもたちの人気を集めていました(参加者64名)。



◆ 自然ふれあい講座

8月1~9日に「みんなで温暖化ウオッチ〜セミのぬけがらを探せ〜」を伊那、松本、長野、大町、上田、飯田の各会場で実施し、延べ155名のご参加をいただきました。

集めたぬけがらは全体で3,522個。そのうち61%(2,151個)はアブラゼミでした。



ご案内 ◆ 令和元年度の今後のイベント

◆ 山と自然のサイエンスカフェ@信州

会場：ステーションビルMIDORI長野3F
「りんごのひろば」
時間：18時~19時30分

- ・ 9月26日(木) 「キノコ(菌)を通して観る自然」
- ・ 10月24日(木) 「信州の草原はどのように利用されていたのか」
- ・ 12月19日(木) 「土がおしえてくれること」
- ・ 1月30日(木) 「登山者をつくるライチョウの今」

◆ 信州自然講座

日時：11月30日(土) 13時~16時
(12時30分開場)
会場：豊丘村交流学習センター「ゆめあるて」
大ホール(豊丘村大字神稲369番地)

- テーマ：南信州の身近な自然と地域づくり
- 講演会
 - ・ 盆行事からみた信州の生物多様性の変化
 - ・ 信州の外来生物とその対策
 - ・ 長野県における気候変動
 - ・ 福島本村地籍の棚田再生活動
 - ・ ツツザキヤマジノギクの保護活動
- 意見交換会
- ポスター発表(市民団体、当研究所他)

編集後記

茅野市に昔ながらの盆棚を作っている方がいて、お盆に訪ねました。棚の両側にずらりとキキョウやオミナエシ等色とりどりの盆花が飾られており、感動。その足でかつて花を採ったという霧ヶ峰高原に行ってみると、花がない!花は防鹿柵の中で咲いていました。(編集担当 浦山)